

令和2年度(2020年)公益財団法人 音楽文化創造 事業報告

当財団は、平成6年に制定された「音楽文化の振興のための学習環境の整備に関する法律」(略称:音楽振興法)の趣旨に基づき、音楽に関する文化活動を幅広く振興すると共に、生涯学習の一環としての音楽学習の環境整備を図り、わが国の音楽文化の発展と音楽を通じた相互理解の促進に寄与することを目的としています。令和2年度はこの目的に沿って事業を展開しました。

【公益目的事業】

1.音楽に関する国内外の協議会、講演会等の開催及びその開催のための協力

音楽振興法推進の精神に基づき、全国各地域の音楽文化振興と生涯音楽学習を普及推進して行くことを目的に「FORUM in 国際音楽の日 2020 首都圏」を開催致しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響により参加者の安全と健康に配慮しオンライン形式での開催となりました。

<日程> 令和2年 10月25日(日)

<形式> Zoom形式 配信本部:ヤマハ音楽振興会目黒本部3F研修室 中継:全国協議会各支部

<主催> 全国生涯学習音楽指導員協議会

<主管> 「FORUM in 国際音楽の日 2020 首都圏」実行員会

<協賛> 公益財団法人音楽文化創造

<後援> ヤマハ株式会社

株式会社ヤマハミュージックジャパン

株式会社鈴木楽器製作所

一般社団法人全国楽器協会

一般社団法人日本青年館公益事業部「社会教育」

<内容>

・ウェルカムコンサート

全国生涯学習音楽指導員 愛知支部、千葉支部、岐阜支部、神奈川支部、東京支部

・メッセージ交換

全国生涯学習音楽指導員 北海道支部、石川支部、福井支部、埼玉支部、茨城支部
浜松支部、愛媛支部、大阪支部、

・講演1.「音楽企画とプロデュース」～ビートルズ、由紀さおりはこう売った～

講師:高嶋 浩之 高嶋音楽事務所代表

・講演2. 手話表現実習「手話とダンスで世界をつなぐ」

講師:北村 仁 手話UDダンサー

・講演3.「生涯音楽学習・再考」

講師:久保田 慶一 東京経済大学客員教授、放送大学非常勤講師、
公益財団法人音楽文化創造理事

<参加者> 200名（協議会25支部:144名、招待:18名、一般25名、ウェルカムコンサート13名）

2.「国際音楽の日」の普及のための事業、その他音楽を通じた国内外の文化交流事業の実施

音楽振興法第7条に定められた「国際音楽の日」を広く普及することを目的としたコンサートやイベントなどを実施する音楽団体に対し助成を行いました。

<申請団体数> 27件

<助成決定団体数> 14件

<国際音楽の日記念事業 選考委員会> 2020年2月17日実施

委員長: 久保田 慶一 東京経済大学客員教授、放送大学非常勤講師、
公益財団法人音楽文化創造理事

委員: 神部 智 茨城大学教授

木下 大輔 宇都宮大学准教授

河原 啓子 立教大学・青山学院大学・日本大学・武蔵野美術大学・国立音楽大学講師

<10月～12月実施報告及び予定>

*新型コロナ感染拡大の影響によりオンライン他での開催 6件、中止 8件

- ・ 10月18日(日) 第8回ふれあい音楽祭 in 川越
主催:埼玉県ふじみ野市 音活レクユニットBeams
会場:ウエスタ川越 小ホールからオンライン配信
- ・ 11月3日(祝) ハーモニッククラブのえほんライブ～自分もまわりも大好きになる魔法の物語～
主催:大阪府枚方市 NPO法人ハーモニッククラブ
会場:枚方公園青少年センターからのオンライン配信
- ・ 11月29日(日) 死ぬまで生きる “認知症なんか恐くない”
主催:東京都国分寺市 地域高齢者サロン・スーパープレイカーズ
会場:特別養護老人ホーム 白十字ホームからのオンライン配信
- ・ 11月29日(日) 国際音楽の日記念コンサート「生きるPART XIII」
主催:山口県山口市 全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部
会場:不二輸送機ホールからのオンライン配信
- ・ 12月13日(日) 0歳からの音楽会 おとのおもちゃ箱
主催:東京都立川市 Le jouet
会場:ららぽーと立川立飛からのオンライン配信
- ・ 2021年
3月20日(土) 第2回健ハモ・コミュニティ・フェスティバル

主催:神奈川県鎌倉市 Born free 生涯学習音楽普及支援協会
会場:横浜市栄公会堂

3. 音楽学習に関する指導員の養成プログラムの開発及び実施

<地域音楽コーディネーター養成講座>

地域において音楽による文化振興を推進するために、音楽専門家、地域住民、音楽団体、行政等との連携が出来る人材を育成する講座を実施、受講修了後「地域音楽コーディネーター」の資格を認定しました。対象者は地域において音楽による社会貢献活動を行っていたり、または今後そのような活動を始めたいと思っている一般の方々等。

*新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン形式にて開催

●テスト開催 オンライン養成講座 7月

<実施日> 令和2年7月11日(土)

<対象> 一般

<受講者数> 25名

<内容>

(1)【生涯学習と音楽】 生涯音楽学習の理論

テーマ:新型コロナウイルス・パンデミック後の社会における音楽

講師:久保田 慶一 東京経済大学客員教授、放送大学非常勤講師
公益財団法人音楽文化創造理事

(2)【文化と地域創生】 地域の文化政策

テーマ:子どもの育ちを支える地域の学習機会

講師:志々田 まなみ 文部科学省国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官
公益財団法人音楽文化創造評議員

(3)【地域文化マネジメント】 地域連携と音楽活動

テーマ:コロナを乗り切っていこう!

講師:中村 牧 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 磯子区民センター館長
公益財団法人音楽文化創造評議員

(4)【地域文化コーディネイト】 音楽企画書の書き方

テーマ:音楽企画書の作成、助成金申請について、申請書の書き方の基本と重要なポイント
企画のアイデア発想、オンラインの活用

講師:松澤 寿典 一般社団法人ソーシャリスト21st代表理事

●第1回 オンライン養成講座 8月

<実施日> 令和2年8月29日(土)

<対象> 一般

<受講者数> 24名

<内容>

(1)【生涯学習と音楽】 生涯音楽学習の理論

テーマ:生涯音楽学習とは何か ―学習社会学の観点から―

講師:赤尾 勝己 関西大学文学部教授、関西大学教職支援センター長

(2)【文化と地域創生】地域の文化政策

テーマ:地域の文化行政・事業の役割について

講師:西尾 征樹 コミュニティエデュ代表

(3)【地域文化マネジメント】地域連携と音楽活動

テーマ:音楽の持つ力で地域を豊かに!

今だからこそ求められる社会包摂型普及事業と市民参加事業の実践例を学ぶ

講師:渡辺 昌明 東大阪市文化創造館館長

(4)【地域文化コーディネイト】音楽企画書の書き方

テーマ:ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる!

講師:大谷 邦朗 グッドニュース情報発信塾塾長

●第2回 オンライン養成講座 9月

< 実施日 > 令和2年9月21日(土)

< 対象 > 一般

< 受講者数 > 24名

< 内容 >

(1)【生涯学習と音楽】生涯音楽学習の理論

テーマ:新型コロナウイルス・パンデミック後の社会における音楽

講師:久保田 慶一 東京経済大学客員教授、放送大学非常勤講師

公益財団法人音楽文化創造理事

(2)【文化と地域創生】地域の文化政策

テーマ:札幌における文化政策と文化芸術活動の現状

講師:関 鎮京 北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻

芸術文化政策研究室准教授

(3)【地域文化マネジメント】地域連携と音楽活動

テーマ:60分でわかる地域音楽コーディネーターのための成功のセオリー(入門編)

講師:高橋 秀典 札幌市芸術文化財団 劇場事業課長 チーフプロデューサー

(4)【地域文化コーディネイト】音楽企画書の書き方

テーマ:音楽企画書の作成、助成金申請について、申請書の書き方の基本と重要なポイント

企画のアイデア発想、オンラインの活用

講師:松澤 寿典 一般社団法人ソーシャリスト21st代表理事

●第3回 オンライン養成講座 11月

< 実施日 > 令和2年11月29日(日)

< 対象 > 一般

< 受講者数 > 31名

< 内容 >

- (1)【生涯学習と音楽】 生涯音楽学習の理論
テーマ:地域で育む文化力 ～生涯学習における“経営”と“支援”～
講師:梶田 美香 名古屋芸術大学教授
- (2)【文化と地域創生】 地域の文化政策
テーマ:市民及び地域アーティストが交わる劇場とその役割
講師:生田 創 長久手文化の家 事務局長補佐兼事業係長
- (3)【地域文化マネジメント】 地域連携と音楽活動
テーマ:市民文化活動のすすめ「文化は一人から始まる」
講師:広中 省子 長久手文化の家 館長
- (4)【地域文化コーディネイト】 音楽企画書の書き方
テーマ:音楽による「時」と「場」の創り方
講師:梶田 美香、中村 由加里 名古屋芸術大学

●第4回 オンライン養成講座 1月

< 実施日 > 令和3年1月30日(土)

< 対象 > 一般

< 受講者数 > 36名

< 内容 >

- (1)【生涯学習と音楽】 生涯音楽学習の理論
テーマ:新型コロナウイルス・パンデミック後の社会における音楽
講師:久保田 慶一 東京経済大学客員教授、放送大学非常勤講師
公益財団法人音楽文化創造理事
- (2)【文化と地域創生】 地域の文化政策
テーマ:子どもの育ちを支える地域の学習機会
講師:志々田 まなみ 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官
公益財団法人音楽文化創造評議員
- (3)【地域文化マネジメント】 地域連携と音楽活動
テーマ:コロナを乗り切っていこう! コロナの先に見えて来たもの……
講師:中村 牧 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 磯子区民センター館長
公益財団法人音楽文化創造評議員
- (4)【地域文化コーディネイト】 音楽企画書の書き方
テーマ:音楽企画書の作成、助成金申請について、申請書の書き方の基本と重要なポイント
企画のアイデア発想、オンラインの活用
講師:松澤 寿典 一般社団法人ソーシャリスト21st代表理事

●第5回 オンライン養成講座 3月

< 実施日 > 令和3年3月6日(土)

< 対象 > 一般

< 受講者数 > 33名

< 内容 >

(1)【生涯学習と音楽】生涯音楽学習の理論

テーマ:人生100年時代 地域に必要なのは「資金」か「人材」か

講師:近藤 真司 一般財団法人日本青年館 公益事業部「社会教育」編集長

(2)【文化と地域創生】地域の文化政策

テーマ:戸田市の文化政策と市民の文化芸術活動について学ぶ

講師:小河 美弘 公益財団法人 戸田市文化スポーツ財団 戸田市文化会館館長

(3)【地域文化マネジメント】地域連携と音楽活動

テーマ:共創の音楽で子どもたちに生きる力を、地域に活力を

講師:菊川 穰 一般社団法人エル・システムジャパン代表理事

(4)【地域文化コーディネイト】音楽企画書の書き方

テーマ:音楽企画書の作成、助成金申請について、申請書の書き方の基本と重要なポイント
企画のアイデア発想、オンラインの活用

講師:松澤 寿典 一般社団法人ソーシャリスト21st代表理事

<地域音楽コーディネーター探究講座>

認定を受けた地域音楽コーディネーターのフォローアップ研修として、音楽業界で活躍中のプロデューサー、制作作家、音楽指導者等から企画の立案、組織の運営方法、心構え等について、また、実際に活動している地域音楽コーディネーターやNPOの方々から今後の活動に役立つ実体験に基づく様々なアイデアや問題解決策などについてお話して頂きました。

*新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン形式にて開催

●テスト開催

<実施日> 令和2年7月12日(日)

<対象> 地域音楽コーディネーター

<受講者数> 25名

<内容>

(1)【実践にあたっての知識】

テーマ:映画作品をつくるということ！映画製作プロデューサーの極意

講師:奥田 誠治 松竹株式会社 映像本部 映像企画部 エグゼクティブプロデューサー

(2)【実践の紹介】

テーマ:アーティストのセルフマネジメントとコンサート企画方法

講師:坂田 康太郎 株式会社CAP代表取締役社長

一般社団法人日本プロトコール&マナーズ協会教授

CSR.CRM.PRコンサルタント/音楽プロデューサー

(3)【実践にあたっての知識】

テーマ:音楽を通した共生社会の実現を目指して—NPO法人音の風の実践事例から—

講師:西野 桂子 NPO法人音の風代表理事

武庫川女子大学音楽学部応用音楽学科非常勤講師
京都市岡崎いきいき市民活動センターセンター長
京都市市民活動総合センター運営委員
地域音楽コーディネーター

(4)【実践の紹介】 地域音楽コーディネーター座談会

講師:西野 桂子 NPO法人音の風代表理事 地域音楽コーディネーター
青木 好美 NPO法人すくすくあいね理事長 地域音楽コーディネーター
藤根 由紀子 NPO法人みらいっこ理事長 地域音楽コーディネーター

●第1回オンライン探究講座 8月

< 実施日 > 令和2年8月30日(日)
< 対象 > 地域音楽コーディネーター
< 受講者数 > 10名

< 内容 >

(1)【実践にあたっての知識】

テーマ: 知っておきたい音楽著作権の基礎知識
講師: 堀井 英樹 JASRAC大阪支部副支部長

(2)【実践の紹介】

テーマ: ありのままの私と音楽
講師: 青木 好美 NPO法人すくすくあいね理事長
地域音楽コーディネーター

(3)【実践にあたっての知識】

テーマ: 「ミュージカル・寝屋のはちかづき」と共に歩んだ5年間
講師: 森本 友紀 大阪音楽大学教授
関西現代音楽交流協会、日本電子キーボード音楽学会、各会員

(4)【実践の紹介】 地域音楽コーディネーター座談会

講師:西野 桂子 NPO法人音の風代表理事 地域音楽コーディネーター
青木 好美 NPO法人すくすくあいね理事長 地域音楽コーディネーター
藤根 由紀子 NPO法人みらいっこ理事長 地域音楽コーディネーター

●第2回オンライン探究講座 1月

< 実施日 > 令和3年1月31日(日)
< 対象 > 地域音楽コーディネーター
< 受講者数 > 10名
< 内容 >

(1)【実践にあたっての知識】

テーマ: 知っておきたい音楽著作権の基礎知識
講師: 薬師寺 卓 一般社団法人音楽著作権協会広報部課長

(2)【実践にあたっての知識】

テーマ:地球はひまわり

山形県飯豊村で30年にわたる音楽での町づくり

ひまわりキッズ・シニア合唱団の軌跡

講師:村田 さち子 作詞翻訳家

(3)【地域音楽活動の秘訣】

テーマ: 地域に合わせて活動を広げるには ～行政との関り～

講師:藤根 由紀子 NPO法人みらいっこ理事長

(4)【実践の紹介】 地域音楽コーディネーター座談会

講師:西野 桂子 NPO法人音の風代表理事 地域音楽コーディネーター

青木 好美 NPO法人すくすくあいね理事長 地域音楽コーディネーター

藤根 由紀子 NPO法人みらいっこ理事長 地域音楽コーディネーター

<動画で学ぶワンポイント講座>

全国各地で活動していたり、これから活動しようとしている地域音楽コーディネーターに役立つ実践的スキルを時間や場所を限定せずにオンデマンドで受講できるweb動画セミナーを開設いたしました。内容は受講生のニーズに即して今後拡充して参ります。

< 実施日 > 令和3年3月開講

< 対象 > 一般

< 内容 >

テーマ:社会貢献を志す貴方へ ～助成金獲得などの4つの秘訣～

講師:藤根 由紀子 特定非営利活動法人みらいっこ理事長

テーマ:音楽と脳科学 ～音楽が脳に良いことを科学的に実証～

講師:若林 龍成 株式会社 neumo CEO

テーマ:プロデューサーの仕事術～コンサート運営のやり方～

アーティストのセルフマネジメント～必要なスキル～

講師:坂田 康太郎 株式会社CAP代表取締役社長

CSR.CRM.PRコンサルタント/音楽プロデューサー

一般社団法人日本プロトコール&マナーズ協会教授

【その他の事業】

音楽に関する出版物の編集及び発行

音楽文化創造のWEBサイトにて4回掲載いたしました。

Vol.12 特集「スポーツと音楽」4月

オリンピック・パラリンピック「東京2020」に合わせて、スポーツ界の活況はもとより、音楽界にも様々な機会がもたらされている。時にスポーツの感動と音楽の感動が相まって、生涯にわたる記憶として深く心に残るものとなる。延期が決まった東京2020大会の成功を祈念しつつ、あらためてスポーツと音楽の関係を考察

した。

- <秋田県民歌>とスポーツ 地域文化～地域をつなぐ要としての音楽～
澁谷 次男 元秋田県職員
- 「スポーツと音楽の親和性—尚美学園大学の試み—」
梶 孝之 尚美学園大学 スポーツマネジメント学部 准教授
- 73号 特集「スポーツと音楽」
舛本 直文 首都大学東京
- 連載第 5 回:聴衆参加を促す「インタラクティブ演奏会」
久保田 慶一 音楽学者

Vol.013 特集「心と音楽—生涯音楽学習にも関連して」 7月

私たちの社会に不安が広がり混沌とした時には、「心に潤いを！音楽の力を！！」といわれることが多い。私たちの目に見えない心。可視化が難しい「心」と、生まれては消えていく「音楽」はどのようなかわりをもっているのだろうか。心と音楽を主軸としながら、生涯音楽学習にも関連させつつ、改めて再考した。

- 「音楽産業「心と音楽」～「心」を投影するデジタルコミュニケーション～」
油井 誠志 エイベックス・エンタテインメント(株)レーベル事業本部
SPU マネージャー兼ゼネラルプロデューサー
国立音楽大学非常勤講師
- 生涯音楽学習における音楽的意味と学びの編み直し
川村 有美 三重大学教育学部准教授
- 雑誌CMC 60号特集「音楽と記憶～懐かしさがよみがえる音楽」
特集・音楽と記憶 「歌いたい、話したい、懐かしい曲」
野中寿美子 生涯学習音楽指導員

特集・音楽と記憶 「音楽療法における記憶の役割～音楽回想法について」
竹内貞一 東京未来大学講師 臨床心理士
- 投稿論文
高等学校におけるLTD 話し合い学習法の研究 - 音楽史の授業実践と課題についての考察 -
中村 仁 青山学院大学系属浦和ルーテル学院小中高等学校非常勤講師
東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程1年

個人による公益活動の可能性 —市民協働型音楽イベント「60 歳からの音楽祭」の実践報告—
三上 香子 生涯学習音楽指導員

- 連載「音楽とキャリア 人生100年時代に向けて」
第6回:社会で必要とされる音楽や音楽家とは？
久保田 慶一 音楽学者

Vol.14 特集「プロとアマチュアの境界線」

生涯音楽学習を始めとして、芸術文化活動には「プロ/アマ」の境界という古くて新しい問題がつきものである。動画配信などを通じて「有名人」や「人気者」になれるかもしれない時代、その境界は一層ファジーになっているようにも見える。気鋭の研究者の力を借りて、この問題について考察した。

- 「専門的に面白さを深めるアマチュアの人生と生涯音楽学習」
杉山 昂平 東京大学大学院情報学環 特任研究員
- 「躍動するアマチュアたち—20世紀転換期のイギリス音楽界」
西阪 多恵子 お茶の水女子大学基幹研究院研究員
- 「プロ」らしさの装い—夢追いバンドマンにとってのプロとアマチュアの距離—
野村 駿 名古屋大学大学院/日本学術振興会
- <コラム>ピアノのお稽古経験はようやく日の目を見るか？—ストリートピアノ
歌川 光一 聖路加国際大学大学院看護学研究科 准教授
- 連載:音楽とキャリア -人生100年時代に向けて-
第7回:変化の激しい時代に生きる音楽家の学びとは何か
久保田 慶一 音楽学者

Vol.15 特集「音楽による社会貢献」

東日本大震災から10年、その後も毎年のように繰り返される災害、そして2020年には新型コロナウイルスの蔓延と、私たちの生活・経済のみならず文化活動にも大きな影響を受けた年月だった。音楽と地域社会をつなぐ、音楽と一人一人の心をつなぐ、社会のためにある音楽など様々な視点から、音楽による社会貢献の現状と展望について考察した。

- 「音楽による社会貢献の現状と展望」
三上 香子 生涯学習音楽指導員
- 「ヤマハが取り組む音楽を通じた街づくり(おとまち)」
細田 幸子 (株)ヤマハミュージックジャパン 事業企画部事業開発課 主任
- 音楽を通して「真のごちゃまぜな社会を創る」という大きな目標
西 亨 認定NPO 法人アークシップ理事
- 「我、COVID-19 の陰の谷を歩むとも -コロナ時代の音楽家と社会貢献」
箕口 一美 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科講師
- 投稿論文
音楽活動を通じたソーシャル・キャピタルの意義—社会学から見た生涯音楽学習の重要性—
平原 幸輝 早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程2年

オンラインによる大学生へのピアノ指導の在り方 ―紙鍵盤とYouTube を活用して―
木原 加代子 関西福祉大学

- 連載:音楽とキャリア -人生100年時代に向けて-
第8回:現代の音楽家に必要な教養とは何か
久保田 慶一 音楽学者